

予算の3%を組替えるだけで

石原知事が提案した予算案は、部分的に前進はあるものの、都民生活の深刻さからみると、きわめて不十分です。また、特別養護老人ホーム整備費の大幅削減や築地市場の豊洲移転用地の購入などは、都民要望に逆らうものです。

その一方、税收減といいながら、1桁1億円もかける外かく環状道路建設に着手するなど、6年連続で投資的経費を

増額するとともに、オリンピック開催準備基金4000億円は温存しています。

共産党都議団は、都民生活の充実を最重点にした予算にすべきとの立場から、予算の組替え案を提出しました。民主、自民、公明、ネットの反対で否決されましたが、この方向こそ、都民の願いにこたえるものと確信しています。

共産党が予算組替え提案



都立3小児病院を再開

26億円



中小製造業へ休業補償・家賃補助

80億円



75歳以上の医療費無料化
(※10月実施)

300億円



都営住宅を1000戸新設

120億円



若者への家賃助成を創設

63億6000万円



私立高校授業料無償化へ、
奨学金を拡充

38億7000万円



認可保育所増設の用地費を補助

50億円



LED電球への買い換え

促進事業を創設 1億2000万円

他にも◆乳幼児医療費無料化の所得制限を撤廃(多摩地域)◆第二子からの保育料の無料化◆小学校1年生で30人学級を実施する◆住民税課税世帯のシルバーパスの負担軽減(3000円パスを発行)◆後期高齢者医療の保険料をすえおき◆特別養護老人ホームの整備数を倍加◆都の直接雇用による未就職者支援事業を実施◆都営住宅の家賃値上げ中止など

石原都政のムダとためこみにメスを入れ、 財源をうみだし、借金(都債発行)を減額

外かく環状道路
ストップ

77億円

ハッ場ダム建設
中止

10億円

などムダづかいストップ
37項目2088億円

オリンピックの
ための積立金

1100億円

などためこんだ税金の計画的とりくずし
2項目1221億円

知事の海外出張費を半分に減らすなど浪費にメスを入れ、外かく環状道路をはじめ3環状道路、臨海副都心開発など不要不急の大型開発を思い切って見直し、オリンピック基金の一部をとりくずします。これにより、都民施策拡充の財源をうみだすとともに、都債発行を975億円減額し、借金返済の負担をへらしました。

一方、中小企業の仕事確保や雇用の拡大につながる生活密着型公共事業は大幅にふやしています。



組替え提案について記者会見する
共産党都議団 3月24日都庁

138の願い、実現できます